



令和5年
9月22日(金)

体育祭・文化祭の取組の中で

人間の能力は、大きく「認知能力」と「非認知能力」の二種類に分けられるようです。後者は、テストなどで測ることが難しい自己肯定感・粘り強さ・自制心・協調性・リーダーシップ・創造力などを指しています。

二学期はこうした非認知能力を高める絶好の機会となる行事がたくさんあります。体育祭(十月三日)と文化祭(十月三十一日)については、保護者の皆様のご観覧制限なしで実施する予定ですので、ぜひ、お越しください。

今年度、体育祭は、全員リレー・選抜リレー・学年種目・生徒会種目、文化祭は、合唱コンクール・ステージ発表・展示発表により軸足を置き、生徒たちの主体的な取組の過程における葛藤を通じて、非認知能力を大きく伸長させられるよう、取組を充実させたいと考えています。

こうした主旨のもと、プログラムを一部精選(体育祭/個人種目・文化祭/芸術鑑賞)いたします。生徒たちと十分に対話をしながら進めるとともに、授業において活躍・体験できる場を十分に保障したいと思えます。

行事を通じての成長と、一人一人の思い出に残る充実の秋となることを願っています。



昨年度体育祭全員リレーより

「挑越」に向けてバトンパス

本日、後期生徒会役員の立会演説会及び投票を行いました。定数六(会長①、副会長②、執行委員③)に対して六人が立候補し、選挙活動を展開してきました。

選挙の結果は、来週二十五日(月)に掲示されます。来月十二日に学級役員・生徒会専門委員と合わせて認証式が行われる予定です。

二〇十五年に公職選挙法が改正され、十八歳選挙がスタートしました。これにより、民主主義の原点である選挙についての正しい認識を確立することは、中学校にとってより大きな使命となりました。

各候補者、応援責任者合わせて十二人の演説からは、「学校をよくしていきたい」「みんなの役に立ちたい」という真っ直ぐな思いが伝わってきました。

全校生徒がその思いを真摯に受け止め、静謐な雰囲気の中で選挙を実施することができたと感じています。

学校スローガン「挑越〜一歩ずつ前へ」を掲げ、様々な場面で生徒会を牽引してくれた前期役員の皆さん、本当にご苦労様でした。

信任された後期役員の皆さんには、学校行事をはじめ、生徒心得の見直しなど、様々な場面で、自主的・自律的な活躍を期待します。



いじめの未然防止・早期発見へ

五日、学期一回の「学校生活アンケート(いじめ調査)」を実施しました。気になる記載内容については個別に生徒に話を聞き、必要に応じて家庭連絡をさせていただきました。

国の調査(令和三年度)によりますと、いじめの態様は、冷やか・からかい・悪口等が全体の六割以上を占めますが、パソコンや携帯電話による誹謗・中傷等も一割を越えており、ますます見えにくくなっている状況が窺えます。

いじめの未然防止・早期発見に向けては、教育相談や日頃からのきめ細かい対話・見守り活動をより一層充実させ、万が一の場合も相談しやすい体制づくりに引き続き取り組みます。

「学校日誌」から「一簣之功」の教え

PTA環境整備活動(九日)に多数ご協力いただきありがとうございます。生徒たちも草集めに積極的に取り組み、あつという間に白いごみ袋の山が出来上がりました。勤勉で規律正しい生徒たちの強みは、ひとえに日ごろの家庭教育の賜物と感じております。

積みあがった草の袋から、「九仞の功を一簣に虧く」という諺を思い出しました。高い山を築くにも最後の一杯の盛土が大切という意です。小中学生の頃から応援していた横綱・三重ノ海に贈られた化粧廻しに書かれていましたが、苦労して登りつめたこの人に相応しい言葉でした。

行事の多い二学期ですが、日々の教育活動を地道に積み上げて、生徒たちの学力や経験を高めたいと思います。

